

「真摯に取り組む」

静岡理工科大

袋井市の静岡理工科大で四日、二〇一六年度入学式があり、理工、総合情報の両学部と大学院修士課程を合わせて三百十八人が入学した。うち約九割は県内出身者という。

野口博学長は「人と地球の未来を築く理工学、総合情報学を自らデザインする意欲を持ち、何を創るのか、なぜ創るのか、何を創ってはいけないのかの視点を大切にしてほし

い」と式辞を述べた。

新入学生を代表して理工学部電気電子工学科の竹田凌貴さん(磐田市)が「社会に貢献できる人間になるようさまざまなことに自発的に、真摯な姿勢で取り組みたい」と宣誓した。



新入学生を代表して宣誓する竹田さん(袋井市の静岡理工科大で)